

2-2-8)

ラムサール条約湿地内でのふゆみずたんぼの取り組み

燕栗グリーンファーム 斎藤肇



私たちは、宮城県大崎市で稲作をしている『燕栗グリーンファーム』という専業農家です。大崎市田尻地区にあるラムサール条約湿地「燕栗沼・周辺水田」に含まれる水田で、ふゆみずたんぼ生産組合の一員として『ふゆみずたんぼ米』や、他の田んぼで『無施肥（むせひ）米』を作っています。この田んぼには、



ガンが飛来し、コウノトリやタンチョウも姿を現します。

●ふゆみずたんぼのお酒・『冬水たんぼ純米酒』

萩野酒造（宮城県栗原市金成）と私たちの『ふゆみずたんぼ米』とがコラボすることになり、『冬水たんぼ純米酒』が生まれました。

●田守村を拠点とした活動

総面積が 5 ha の棚田を活かし、無農薬で野菜やお米作りをする中から出会った多くの仲間と農作業や遊びを繰り返しているうちに出来た組織が田守村です。仲間が集まり、一緒に自然に関係するイベント、忘年会、新年会などを賑やかに行き、農家が主宰するガン類の調査「フライングギース」の拠点にもなっています。

●フライングギースとは？

田守村の周辺には、冬に北東ロシアなどから渡ってくる渡り鳥・ガンのねぐらとなる燕栗沼があります。日の出とともに、燕栗沼からエサを求めて半径 10 キロ四方の田んぼを目掛けて飛んでいくガンたちを追跡して、ガン類がどこまでエサを求めているか、調べる調査を多くの人の協力を得て毎月（冬期間）行なっています。

<<< 田んぼの生物多様性向上 10 年プロジェクトへの登録内容 >>>

燕栗グリーンファーム

【愛知目標】 1 次産業の営み、化学汚染

【水田目標】

- 7-1 ふゆみずたんぼを実施することにより生物多様性の維持に努めています。
- 8-1 ふゆみずたんぼ以外の農地で環境保全米を作り、農薬使用を 1 回に収めています。

ふゆみずたんぼには農薬を一切使っておりません。